

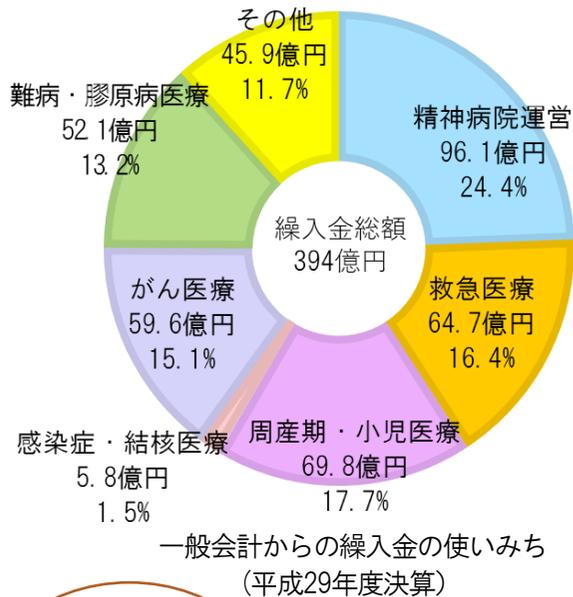
都立病院は本当に赤字？

都の予算のたった0.5%で患者のいのちを支えています

都立病院は400億円の赤字と報道され、都議会でも議論になっています。しかし、東京都は赤字とは言っていません。

一般会計からの繰入金約400億円は、都予算のたった0.5%です。都民が求めている不採算・困難医療や地域で必要としている医療を政策的に実施するために必要なのです。

このことは都立病院だけでなく全国の公立病院にも求められており、公立でなければできません。



400億円は赤字じゃないのネ。
グラフのとおり大事な医療に使われているんですネ。



ええ〜っ！ 都立病院がなくなる？

直営

新型コロナ患者を受け入れて頑張っているのに…

そんなひびい!



これからどうなる



いま必要なのは公立直営の病院 なくすなんてとんでもない!

小池知事は19年12月の都議会冒頭で突然、8つの都立病院を直営から外し、6つの公社病院とともに独立行政法人化すると表明。都は「今までどおりの医療提供と、そのために都の財政を使う」と言っています。しかし、地方独立行政法人になると…

- 基本的に「独立採算」なので患者・利用者負担が増えることとなります。
- 都立病院の医療と役割が低下することが心配されます。
- 都立病院で働く医師、看護師などの労働条件の低下が起こります。

**都立病院の地方独立行政法人化に反対し、
地域医療の充実を求めま**

署名にご協力ください!

署名用紙は当会のホームページからもダウンロードできます。東京の医療、全国の地域医療を守りましょう。

独法化の狙いは予算の削減と労働条件の切り下げ

都は独立行政法人化についてデメリットはないとしており、都の財政負担は減るとしていますが、本当にそうでしょうか。



神奈川では…

5つの病院を運営して10年が経過する神奈川県では、県の運営費負担金が33億円減らされ、25億1200万円の赤字となり危機的状況に陥りました。県の運営費交付金132億円が33億円も削減されたことが大きな原因です。

大阪では…

2006年に都道府県立病院で全国初、5病院を独法化し、「成功モデル」されている大阪府では、職員の人件費は大幅に削減され、患者・利用者負担が増えました。独法化初年度には17.2億円もの収支改善がされましたが、職員の給与費が同じく17.2億円減っています。黒字分はすべて職員と患者・利用者を犠牲にしたものでした。これが本当に「成功モデル」でしょうか。

「独法化おき」での押し通しは許さない

3月9日の都議会予算特別委員会で、独法化の問題点を追及された小池知事は答弁を逃げ回りました。



しかも、都議会冒頭での独法化発言など、まったく決済を取っていないことも明らかに。「丁寧に進める」と言いながら、手続き上の矛盾

都立病院と公社病院が果たしている役割は…

都立病院が果たしている役割には、一般の医療に加えて、「行政的医療」と言われている都立でなければできない医療があります。

感染症や災害など法律で決められている医療、難病や障がい者、島しょなど社会的要請から求められる医療、小児がんや外国人患者医療等、民間では採算の確保が難しい医療です。

各都立病院がこうした医療を担っており、そのために必要な費用が一般会計から繰り出されています。



都立病院名	主な重点的医療	病床数	400億円の内訳
墨東病院	救命救急, 周産期, 精神科救急, 感染症, 災害	765床	68.3億円
駒込病院	がん, 幹細胞移植, エイズ, 感染症, 災害	815床	66.5億円
大塚病院	周産期, 小児特殊医療, 障がい者医療, 災害	508床	28.8億円
広尾病院	救命救急, 災害, 島しょ(伊豆・小笠原諸島) 心臓, 脳疾患, 災害基幹	478床	30.3億円
松沢病院	精神科(身体合併症, 救急, 特殊)	898床	60.1億円
多摩総合医療センター	救命救急, 周産期, 難病, 結核, がん, 移行期医療, 災害	789床	53.8億円
小児総合医療センター	救命救急, 周産期, がん, 精神, 難病, アレルギー, 結核, 災害	561床	61.4億円
神経病院	難病(神経, 筋疾患)	304床	30.8億円
注●広尾病院建替後400床 ●大塚病院改修後病床削減		5118床	400億円

公社病院の病床数

病院名	病床数	病院名	病床数	病院名	病床数	公社病院
大久保病院	304床	豊島病院	438床	荏原病院	506床	2,193床
多摩南部地域病院	287床	多摩北部医療センター	344床	東部地域病院	314床	

都立・公社病院が新型コロナウイルス患者に対応 都立・公社病院を独法化したら 新型感染症への対応は大丈夫？



新型コロナウイルスの感染拡大が脅威になっていますが、当初から感染者の治療にあたっているのが都立駒込病院、墨東病院、多摩総合医療センターと東京都保健医療公社の荏原病院及び豊島病院です。これらの病院とともに、第一種、第二種感染症指定医療機関に指定されており、第一種はエボラ出血熱やSARS、MERSなどの極めて危険な感染症に対応できる病院です。

ここには陰圧室というウイルスが外に出ないようにした病室があります。このような設備は、普段使うことがほとんどないので民間病院では設置できないものです。

現在都内では12病院118床が新型コロナウイルス対応病床として確保されており、そのうち都立・公社の4病院で80床67.8%を担っています。

もし、都立病院や公社病院が独立行政法人化されれば、職員は法律や規則で災害時対応等を義務付けられている公務員でなくなってしまい、このような医療は対応できなくなる心配があります。

都立病院・公社病院の独立行政法人化は止めて、都民のいのちと健康を守るために都が責任をもって運営するべきです。



荏原病院の陰圧室(病室の外に内部の気圧計がある)

全国440病院

公立病院がなくなる!?

厚労省は全国の公立病院や公的病院のうち424病院を「再編・統合」が必要だと公表しました。(2019年9月26日)



さらに2020年1月17日にはこれを見直し、440病院としました。

この中身は、地域の人々にとっていのちのよりどころとなっている病院ばかりであり、乱暴でずさんな内容です。

このままでは公立・公的病院がなくなってしまう地域医療が崩壊します。

東京でも9病院が対象に

- ・都立神経病院
- ・国保町立八丈病院
- ・奥多摩町国保奥多摩病院
- ・区立台東病院
- ・東大医科学研究所附属病院
- ・済生会向島病院
- ・東京城東病院
- （地域医療機能推進機構）
- ・国立病院機構村山医療センター
- ・国家公務員共済九段坂病院



国は乱暴な地域医療破壊の撤回を!

都立病院の充実を求める連絡会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10

東京労働会館5階

mail: thei41822@blue.ocn.ne.jp

URL: <https://t-renraku.com/>

